

呼吸理学療法ガイドライン COPD 重要用語

CQ2

炎症性サイトカイン：サイトカインとは，細胞から分泌されるたんぱく質で，他の細胞の増殖や細胞死，分化や機能発現など細胞間の調節の働きを持つ。その中でも，IL-1 や IL-6，TNF- α など炎症症状を引き起こす原因因子となるサイトカインを炎症性サイトカインと称する。

フレイル：日本老年医学会が 2014 年に提唱した概念で，「虚弱・老衰（Frailty）」のこと。健康な状態と要介護状態の中間に位置付けられ，身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指す。筋力低下などの身体的要素，認知症やうつなど精神的・心理的要素，独居や経済的困窮などの社会的要素で構成される。

CQ3

6MWT (six-minute walk test)：6 分間歩行試験。フィールド歩行試験のひとつ。COPD においては必須の評価項目で，一次評価項目は歩行距離（6 分間歩行距離，six-minute walk distance, 6MWD）である。2002 年に米国胸部学会がガイドラインを発表し，30m の歩行路を使い 6 分間にできるだけ長い距離を歩く（往復）という方法を推奨した。6MWD の臨床的に意義のある最小変化量（minimal clinical important difference, MCID）は COPD で 25～33m（中央値 30m）である。

ISWT (incremental shuttle walking test)：漸増負荷シャトル歩行試験。フィールド歩行試験のひとつ。COPD においては 6 分間歩行試験と並ぶ必須の評価項目で，一次評価項目は歩行距離である。録音された発音に合わせて 10 m の歩行路を往復する方法で，1 分ごとに発音の間隔が短くなることで歩行速度を漸増する。発音に間に合わせることができなくなった時点で試験が終了となる。MCID は 47.5m である。

ESWT (endurance shuttle walking test)：一定負荷シャトル歩行試験。フィールド歩行試験のひとつ。一次評価項目は歩行距離。ISWT と同様，10m の歩行路を往復する方法であるが，歩行速度は一定であり，ISWT から得られた最高酸素摂取量の 85%に相当する歩行速度を用いる。発音に間に合わなくなった時点で試験を終了する。

CRQ (chronic respiratory disease questionnaire)：慢性呼吸器疾患質問表。COPD 患者の健康関連 QOL を評価する疾患特異的評価法のひとつである。呼吸困難 5 項目，疲労 4 項目，感情 7 項目，病気による支配感 4 項目の 4 領域 20 項目からなる。各項目につき 1～7 点の 7 段階評価で，点数が高いほど健康関連 QOL が良好であることを示す。

SGRQ (St. George's Respiratory Questionnaire) : COPD 患者の健康関連 QOL を評価する疾患特異的評価法のひとつである。症状 8 項目, 活動 16 項目, 衝撃 26 項目の 3 領域 50 項目からなる自己記入式質問票である。点数が高いほど健康関連 QOL が低いことを示す。総スコアが 4 以上変化すれば臨床的に有意とみなされる。

CQ4

BDI (baseline dyspnea index) : ベースライン呼吸困難指数。面接者が記入する呼吸困難の評価表である。ADL 障害の程度, 労作の程度, 呼吸困難を引き起こす作業の程度を測定する。これら 3 項目において 0 (高度) から 4 (障害なし) の 5 段階にスコア化し, その総和をスコアとして算出する。スコアが低いほど高度の呼吸困難を示す。

TDI (transitional dyspnea index) : 呼吸困難変化指数。BDI (baseline dyspnea index) 3 項目について, ベースラインの患者報告と比較して, -3 (大きな悪化) から 3 (大きな改善) の 7 段階に評価してスコア化する。さらにその総和をスコア化するものである。呼吸リハビリテーションなどによる呼吸困難の改善を評価する。

CQ5

呼吸リハビリテーション : 「病気などによって呼吸器に障害が生じた患者に対して, 可能な限り機能を回復し, あるいは維持することによって, 症状を改善, 患者自身が自立した日常や社会生活を送れるように継続的に支援する医療」と定義されている。

SF-36 (Short Form 36) : SF-36 は健康関連 QOL を多元的に評価する尺度の 1 つである。SF-36 には 8 つの下位尺度 (身体機能, 日常生活機能, 体の痛み, 全体的健康感, 活力, 社会生活機能, 日常役割機能, 心の健康) と合計 36 の項目から構成される。これらの 8 つの下位尺度から「身体的健康」と「精神的健康」の 2 因子を求めることも可能である。

CAT (COPD Assessment Test) : CAT は COPD が患者の健康状態や日常生活にどの程度影響を及ぼしているかを評価するための尺度である。咳, 痰, 呼吸困難, 日常生活などについての 8 つの質問から構成され, 総得点 0 点から 40 点で表される。得点が高いほど COPD による生活への影響が大きいことを意味する。

CQ6

(急性) 増悪 : COPD の急性増悪とは呼吸困難の急激な増強, 咳や喀痰の増加, 胸部不快感や違和感などの急性の出現や増強を伴い, 安定期からの治療内容の変更, 追加が必要となる状態のことを言う。症状によっては入院が必要となる場合もある。

$\dot{V}O_2$ peak (peak oxygen uptake, 最高酸素摂取量) : 運動中に換気によって取り込まれる酸

素摂取量を表す指標で, peak $\dot{V}O_2$ と記載されることもある。運動負荷量が漸増する中で得

られる酸素摂取量の最高点が $\dot{V}O_2$ peak と定義される。

呼吸理学療法ガイドライン COPD 略語一覧

B	BDI	baseline dyspnea index	ベースライン呼吸困難指数
C	CAT	COPD Assessment Test	COPD アセスメントテスト
	COPD	chronic obstructive pulmonary disease	慢性閉塞性肺疾患
	CRQ	chronic respiratory disease questionnaire	慢性呼吸器疾患質問表
E	ESWT	endurance shuttle walking test	一定負荷シャトル歩行試験
H	HRQOL	health related quality of life	健康関連生活の質
I	ISWT	incremental shuttle walking test	漸増負荷シャトル歩行試験
S	SF-36	Short Form 36	
	6MWD	six-minute walk distance	6 分間歩行距離
	6MWT	six-minute walk test	6 分間歩行試験
	SGRQ	St. George's Respiratory Questionnaire	聖ジョージ呼吸器質問表
T	TDI	transitional dyspnea index) :	呼吸困難変化指数
V	$\dot{V}O_2$ peak	peak oxygen uptake	最高酸素摂取量